季節戦隊　四季レンジャー！　　2

猫舌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
季節戦隊　四季レンジャー！　　２

【Ｎコード】
Ｎ４９４３Ｚ

【作者名】
猫舌

【あらすじ】
特撮ヒーローコメディ

（前書き）

特撮ヒーローコメディです

季節戦隊　四季レンジャー！
第２話

ここは繁華街と歓楽街の中間。創意工夫された華やかなデザインの街灯などはなく電柱に蛍光灯がついてるだけのシンプルかつ時代錯誤な感がぬぐえない。
そんな陸の孤島のような都会の片隅でひっそりとその看板はただずんでいた。

ＢＡＲ　征服

店内で一人の男が管を巻いていた。
「申し訳ありません。私が巨大化プログラムを完成させなかったばかりに・・・怪人をみすみす無駄死にさせてしまいました・・・。」
その横で少し化粧の濃い若い女性が男をかばうようにしゃべりだす。
「もう一度チャンスをくださいませ。つぎこそは必ず四季レンジャーを倒して見せましょう。早速、Ｄｒ．カスパーと新しい怪人の育成に入ります。」
といいながら隣の男をせっついた。
「では成功を祈る。」
暗闇の中で手元しか見えないが男の声で言い捨てられた。『次はない』という意味も含まれているのだろう。
店のボーイは皆「グケケケケ」で会話していた・・・、姿も全身黒タイツだ。客は皆顔のみえないバーテンを「将軍」とか「ジェネラル」と呼んでいる。どうやら外国人の客も多いらしい。
「将軍・・・軍資金の話なんだが・・・巨大化プログラムが完成次第でどうかね？」

恰幅のいい男性がバーテンに声をかけた。
「いつも高額の投資を・・・・・・感謝しています。」
バーボンのはいったグラスがテーブルに置かれた瞬間カラリと氷がグラスの中で回転した。
「いやぁ・・・・・いいんですよ。夢だったんでね。俺を『がり勉』とかいって虐げてきたやつらに対する復讐みたいで・・・。ばかげてるってわかってるけど恐怖と不安に陥った群集を見るのは実に楽しい。」
脂ぎった手でグラスを掴みバーボンを一口飲んで男は笑った。
「この前のミッションは負けてしまいましたが四季レンジャーの４人のうち二人の素顔を確認できました。いまその二人について情報を検索しています。」
バーテンは二枚の写真とプロフィールを男に差し出した。
この店は実業家や大学教授、政治家など店の立地条件から考えてもあまり見かけないような肩書きの客が多い。つまりちょっと割高な一般ピープルで構成されているのだ。
世界制服にかこつけて犯罪に荷担するもの、学会から追放された科学者や研究費の出ない研究員がここで軍資金を得て技術を提供していたりする。
要するに「悪の秘密結社」ならぬ「悪の秘密高級倶楽部」なのだ！

そして今日もＢＡＲ　征服の夜はふけていく。

某月某日。
「今日・・・・・ついに予言は成就する。」
冬の空を見上げながら屋台の親父は白い息を吐いた。

「デメテルの娘が冥界に留まる季節、地上の世界の民より選ばれし光の戦士が姿をあらわすであろう。汝、わが声を聞くものよ。屋台

を引き戦士たちに小麦とスープでもてなせ。」
要するに冬に光の戦士がやってくるので適当にご馳走しておけってことらしい。

屋台の親父が信じてやまない言葉である。
まったく根拠もなく信じるほうがバカみたいな話であるが屋台の親父は脱サラした翌日にこれを聞き妙な使命感をおぼえたのである。

しかも今年に入り、「光の戦士に渡すもの」とかかれた箱が着払いで届いた。どこから届いたのかわからないが五千円もとられた。箱の中身は時計のようなものが5つ、秘密基地の土地の権利書、膨大な量の取扱説明書、光の戦士たちへのメッセージ等であった。

そして冬がくるたびに「予言は成就する」とつぶやきながら親父は店を開くのだ。

閉店間際に4人の若者が現れる。
「すいませーん！支那そば4つ！」
「あいよぉ！」
4つの麺きりに麺をほぐしいれ、どんぶりを用意する。
男が二人、女が二人。
親父は4人の顔を見て唖然とする・・・。
額に光とかかれているのだ！否！「ヨー○卵光」の卵によくはられている丸くて小さいシールがくっついてただけだったのだが！
何たるめぐりあわせ。
そして親父は小麦（麺）とスープ（中華スープ）でもてなすのだった。

そんなこんなで光の戦士たちはラーメンの屋台で洗礼を受け地球を守るため、ほそぼそと喫茶店をはじめたのであった。

喫茶　ジャスティス

看板には諸刃の剣と上皿天秤のレリーフが彫ってある楯が描かれていた・・・。

おしまい。

（後書き）

ネタが尽きて2話でおしまいになりました。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n4943z/

季節戦隊　四季レンジャー!　　2

2015年6月11日08時07分発行